

# 3年

## 『ごみ！ごみ…ごみ？』の実践

札幌市立幌北小学校 小野 明裕

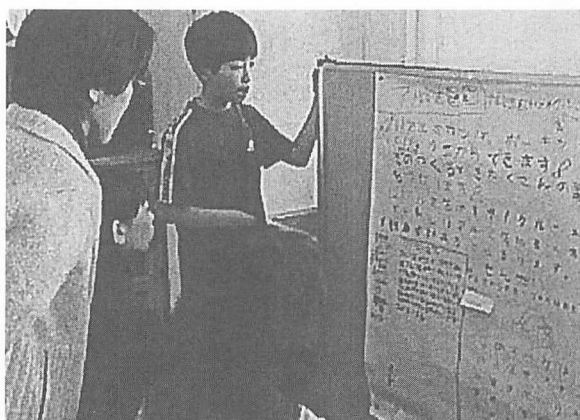
### ◆単元のポイント

#### ○子供の興味・関心と学習のねらいをおさえる

環境について学ぶことの重要性はすでに十分語られています。また、「環境」「リサイクル」などの言葉も身近になりつつあります。アルミ缶、牛乳パックの回収も体験的に知っています。調べてみたいという意欲も期待できますし、子供は調べる過程で「知っていく」喜びを感じていくでしょう。その喜びを原動力に、言葉のもつ意味について、学習を進めていくことができると考えています。

#### ○単元を大枠で構成する

本単元は、「リサイクル」というテーマから、興味をもったことについて、一人一人が自分で調べていくことになります。本やインターネットなどで調べたり、電話で聞き取りを



したりする活動が連続して構成されます。それらの活動は、一人一人の課題にそったものなので、単元が進むにつれ活動は多様化していくことが予想されます。そのため単元は大枠で構成する必要があります。

#### ○子供同士のかかわりをく学び合い

学習は基本としては個別の課題であり活動ですが、まだ調査や発表の仕方を十分には身につけていない子が多くいます。課題意識を十分にもてていない子もいます。そこで課題別のグループを作り、その中でかかわりあいながら調査を進めることにしました。子供たちが自分だけでは学べなかったことを、グループの中で学んでいくことができると考えました。

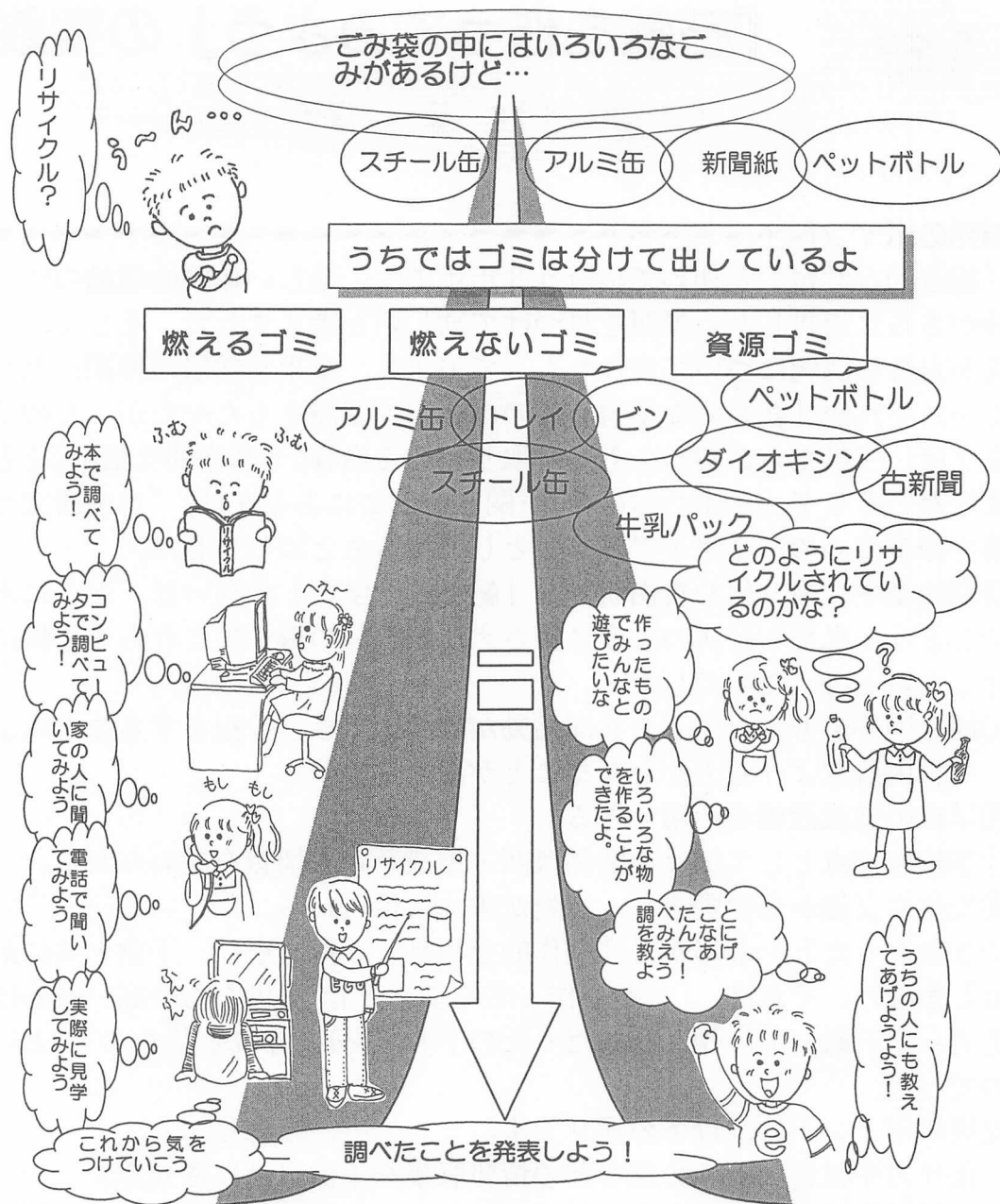
### ◆単元の目標

○ごみやリサイクルに関することについて、自分で調べることを決め、調べていくことができる。

○調べたことについて発表の方法を考えたり、意欲的に交流しようとする。

○学習したことを自分の生活に生かしていくことができる。

## ◆単元の構成（14時間扱い）



## ◆実践するにあたって

### ○家庭との連携を図る

この実践は家庭との連携を図ることが大切です。リサイクルについて保護者と子供と一緒に学習していくことで、学習が終わっても家庭の中でこの学習が生かされていきます。調べたことの発表会には、学校に保護者の方にも来ていただき、子供たちの学習してきた様子を公開しました。